

『健康栄養学 第2版』正誤表（第2版1～5刷用）

頁	行	誤	正
viii	↓ 18	3.5.2 脈硬化の発症 220	3.5.2 動脈硬化の発症 220
18	↓ 2	1-リン酸	6-リン酸
26	表 1.3.2	密度(g/cm ²)	密度(g/cm ³)
28	↑ 2・3	コレステロール転移酵素	コレステロールアシルトランスフェラーゼ
29	図 1.3.11	CATE	CETP
29	図 1.3.11 ③ ↓ 1	コレステロール転移酵素	コレステロールアシルトランスフェラーゼ
29	図 1.3.11 ⑥	コレステロールエステル輸送タンパク質 (CATE)	コレステロールエステル転送タンパク質 (CETP)
29	↓ 2・3	コレステロールエステル輸送タンパク質 (CETP)	コレステロールエステル転送タンパク質 (CETP)
29	↑ 7	レシチン-コレステロールアシル基転移酵素	レシチン-コレステロールアシルトランスフェラーゼ
35	↓ 3	HMG-CoA	HMG-CoA 還元酵素
39	図 1.4.2 ロイシン 構造 2段目	CH ₂	CH
39	図 1.4.2 バリン 構造 1段目	CH ₂	CH
176	図 2.9.2		表外図参照
220	↓ 11	3.5.2 脈硬化の発症	3.5.2 動脈硬化の発症
222	↓ 11・12	コレステロールアシル転移酵素	コレステロールアシルトランスフェラーゼ

P.176 図 2.9.2 正

